

金ヶ崎町地域公共交通網 検討分科会の開催結果について

令和2年1月28日(火)

金ヶ崎町役場 4階 大会議室

(1)これまでの分科会の開催について

第1回分科会

- ◆開催日時 : 令和元年11月13日(水) 13:15~15:00
- ◆開催場所 : 金ヶ崎町役場3階 302・303会議室
- ◆出席者数 : 分科会委員5名、アドバイザー1名 出席
- ◆議事内容 :
 - ①分科会の進め方(案)について
 - ・分科会の目的について
 - ・計画目標と事業の方向性について
 - ②スクールバスと田園バスの連携(案)について
 - ・スクールバスと田園バスの現状について
 - ・スクールバスと田園バスの連携例について

第2回分科会

- ◆開催日時:令和元年12月3日(火) 13:30~15:30
- ◆開催場所:金ヶ崎町役場3階 302・302会議室
- ◆出席者数 : 分科会委員6名 出席
- ◆議事内容
 - ①町の地域公共交通網の将来イメージ(案)について
 - ・第1回分科会の振り返り
 - ・町の地域公共交通網の将来イメージ
 - ②スクールバスと田園バスの連携(案)について
 - ・スクールバスと田園バスの混乗について
 - ③地域公共交通網形成計画骨子(案)について
 - ・地域公共交通網形成計画が目指すもの



前回開催した

**「第3回地域
公共交通会議」**

で報告しました。

(2) 第3回分科会の開催結果について

- ◆開催日時: 令和2年1月17日(金) 午前10:00~12:00
- ◆開催場所: 金ヶ崎町役場3階 302・302会議室
- ◆出席者数 : 分科会委員5名、アドバイザー1名 出席
- ◆議事内容

①スクールバス混乗の概要(案)について

- ・スクールバスのバス運行(混乗)について
- ・混乗の手続きについて

②金ヶ崎町の路線バスの再編の概要(案)について

- ・町の地域公共交通網の将来イメージについて
- ・路線バス(地域間幹線2系統)の必要について
- ・町内のバス路線運行について

③金ヶ崎町地域公共交通網形成計画(案)について

④パブリックコメントの実施(案)について

議事内容①、②の概要について

①スクールバス混乗の概要(案)について

⇒スクールバス混乗を運行する際の対象者や手続き方法の案に対し、委員の皆様と協議等を行いました。

②金ヶ崎町の路線バスの再編概要(案)について

⇒町の地域公共交通網の将来イメージを踏まえ、町内のバス路線運行の現状を説明するとともに、委員の皆様と協議等を行いました。



今後...

今後、具体的な運行経路・ダイヤの検討を行う必要があるため、現在運行している事業者と個別に協議を行い、具体的な運行案の提案準備ができた際、公共交通会議等でご協議をする予定としています。

(2) 第3回分科会の開催結果について

◆委員からの主な意見等

①スクールバス混乗の概要(案)について

- ・スクールバスへ混乗する一般者の中に、スクールバスの利用対象外の小・中学生が含まれないのか、含まれるのかを明確にしておくべきである。
(「一般者」という表現だけでは、誤解を招く恐れがある)。
- ・スクールバスの利用対象外の児童・生徒の保護者の中には、「お金を払っても良いので、スクールバスに混乗させて欲しい。」と要望をしてくる場合も十分に考えられるため、今後の課題として認識しておいてほしい。
- ・夏休みにおけるスクールバスの運行時間の取扱いについて、小学校のプール時間、または中学生の部活動の時間にあわせるのか、ターゲットを明確にするなど議論が必要となってくる。
- ・夏よりも冬の方が運転が難しいため、冬の除雪は適切に対応することが望まれる。
- ・小学校や中学校で児童・生徒を降ろした後の方が、座席に余裕が生まれるので、回送時間を利用して乗車されることも可能かもしれない。

(2) 第3回分科会の開催結果について

◆委員からの主な意見等

②町内の路線バスの再編の概要(案)について

- ・北上金ヶ崎線のバス路線をどのように維持していくか、政策判断が求められる可能性がある。
- ・町内の高校生は、北上の湘南高校に通学している生徒が多くいるが、現在のバスルートでは通学が難しいため、バス路線の改善においては、新たな需要獲得も想定すると利用者の増も可能ではないか。
- ・今後の高齢化等を踏まえると、奥州市への通院移動等のため金ヶ崎水沢線は必要な路線である。
- ・乗合バスの免許(4条免許)を貸切バス事業者、タクシー事業者に取得してもらうようなことも考えるべき時期かもしれない。但し、町内や周辺市町には黒字になる路線がないので、仮に貸切事業者等が乗合バスの免許を取ったとしても、補助に頼らざるを得ない状況になってしまう(財政の更なる負担が発生)。
- ・町内自動車関連企業等と連携したプロジェクトも考えることが必要となってくる。
- ・バスとタクシーの間の中間的な移動手段(例:乗合配車的なタクシー)なども案として、中期以降考えてみることも必要ではないか。

③金ヶ崎町地域公共交通網形成計画(案)について

- ・特になし

④パブリックコメントの実施(案)について

- ・特になし